

市コミュニティバス「こもろ愛のりくん」および「愛のりすみれ号」の変更の検討について（要旨）

高齢化社会の進展に対応するため、自宅と目的地とを結ぶ、市コミュニティバス「こもろ愛のりくん」の運行を開始して、5年が経過しました。利用が広がる一方、ニーズや課題も挙げられることから、持続可能な運行を目指し、令和3年10月からの変更に向け、検討を進めています。

1 これまでの成果と課題

「こもろ愛のりくん」は、朝9時から夕方4時まで運行し、高齢者の方を中心に利用が広がっています。特に年間延べ利用者では、平成28年度4万5千人ほどに対し、平成30年度5万8千人まで増加し、令和元年度では台風19号やコロナウイルス感染症拡大の影響下で5万4千人ほどとなっています。

一方、通院など、早朝への運行時間の拡大のニーズが多く、また、午前中への利用の集中により、運行管理のはんざつ化やタクシーによる応援便の急増など、事業費の増大が続いています。

また、「愛のりすみれ号」は、「こもろ愛のりくん」の車両を利用して、早朝と夕方でも市内を限定的に運行しているものの、利用者は年々減少し、路線の維持が困難な状況となっています。

今後、コミュニティバスの運行には、ニーズに対応した利便性の向上とともに、事業の持続性を保つための効率化が求められています。

2 公共交通全体の取り組みの方向性

社会的な課題として、利用者の減少による公共交通の利便性や事業採算性の低下、人手不足等の深刻化が挙げられ、利用状況やニーズに応じて、重点に配慮した公共交通の確保の取り組みが必要です。

そこで、利用状況やニーズの点から、高齢の方および障がいをお持ちの方には、コミュニティバスの運行等による市内での移動支援を中心に行い、通勤・通学される方には、鉄道・地域幹線バス事業者との連携・支援による広域的な移動の確保を中心に行い、観光・交流される方には、市内の移動において、コミュニティバスの試験的な活用を検討します。

また、将来的に向けては、情報通信技術を活用した新しいサービス（キャッシュレス決済、スマートフォンでの予約、目的地となる施設の情報提供など）の導入を検討し、付加価値の高い運行を目指します。

3 令和3年10月からの変更のポイント

「こもろ愛のりくん」の運行開始時間を現行の朝9時から朝8時へ拡大し、当日予約も朝9時便から受け付けることで、利便性の向上とともに、利用の適切な分散を図ります。

「こもろ愛のりくん」の運行時間の拡大に伴い、「愛のりすみれ号」は全路線休止するとともに、利用者の少ない土曜日の午後3時から便とタクシー応援便を休止、効率的な運行を図ります。

高齢の方を中心とした外出機会の創出や交通安全などにつながる、「こもろ愛のりくん」の利用浸透を促す支援事業¹や、様々なニーズに柔軟に対応する試験的な運行の検討を行います。

1 公共施設利用券との割安なセット券や複数回試乗できる機会の設定など

4 今後のスケジュール

今後、変更に係る具体案を策定するため、市民の皆さんから、次のとおり意見を募集します。なお、具体案は令和3年1月に公表予定です。

また、変更等によりご不便のある方は、次の担当課までご相談ください。

募集期間	令和2年10月30日から令和2年11月30日まで
募集方法	氏名、ご意見、ご連絡先を所定の用紙、もしくはEメールに記入いただき、次の提出先へ、提出もしくは送信ください。
提出先	都市計画課窓口、市ホームページ、市立図書館（特設コーナーに意見箱を設置）
資料配布	具体的な検討資料は、市ホームページで掲載、または都市計画課窓口および市立図書館（特設コーナー）で配布
担当課	小諸市都市計画課 担当 都市計画係 電話：22-1700（内線2243）FAX：24-3570 E-mail：keikaku@city.komoro.nagano.jp